

豊田工業高等専門学校		開講年度	令和05年度 (2023年度)	授業科目	創造電気実験実習
科目基礎情報					
科目番号	71341		科目区分	専門 / 必修	
授業形態	実験		単位の種別と単位数	履修単位: 2	
開設学科	電気・電子システム工学科		対象学年	1	
開設期	通年		週時間数	2	
教科書/教材	創造電気実験実習テキスト (豊田高専 電気・電子システム工学科 編) / 教材用プリント、ビデオ教材				
担当教員	塚本 武彦, 野中 俊宏				
到達目標					
<p>(ア) 電気回路、電子回路の製作基礎技術やそれに関する工具の使い方および計測ができる。</p> <p>(イ) 各班で実験方法等のコミュニケーションをとり、実習を進めることができる。</p> <p>(ウ) 実験中に工夫や創造性を発揮し、問題点を解決できる。</p> <p>(エ) 工作機械について理解し、工作機械を安全に使用することができる。</p> <p>(オ) 工作機械を使用して加工精度を意識したものづくりができる。</p> <p>(カ) 基本的な電気磁気現象を実験により理解できる。</p> <p>(キ) 実験実習により各種の測定機器を取り扱うことができる。</p> <p>(ク) 電気技術史を理解する。</p> <p>(ケ) 聞き手が理解できる発表をすることができる。</p>					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安	最低限の到達レベルの目安(可)	未到達レベルの目安		
評価項目(ア)	電気回路、電子回路の製作技術やそれに関する工具の使い方および計測ができる。	電気回路の製作基礎技術やそれに関する工具の使い方を理解して計測ができる。	電気回路の製作基礎技術やそれに関する工具の使い方を理解して計測ができない。		
評価項目(イ)	工作機械について理解し、工作機械を使用して加工精度を意識したものづくりができる。	工作機械について理解し、工作機械を安全に使用することができる。	工作機械について理解し、工作機械を安全に使用できない。		
評価項目(ウ)	実験中に工夫や創造性を発揮して問題点を解決でき、聞き手が理解できるわかりやすい発表をすることができる。	聞き手が理解できる発表をすることができる。	聞き手が理解できる発表をすることができない。		
学科の到達目標項目との関係					
本校教育目標 ② 基礎学力 本校教育目標 ③ 問題解決能力					
教育方法等					
概要	電気磁気現象を実験実習を通して理解することを目指す。また、知的な興奮を科学のおもしろさに発展させ、探求していく心をこの創造電気実験実習で養う。				
授業の進め方・方法	この実験では少人数の班別でモノづくりを中心に実験と講義によって進める。本実験には記入形テキストを用いて、実験中に気づいたことや、アイデア(工夫)をこのテキストに記録していく。実験テーマは、電気工学および機械工作の基礎や基本的な電気現象とする。それらテーマをものづくりを通して体験し、観測し電気についての興味と理解を深める。				
注意点	実習服および安全靴を必ず着用すること。				
選択必修の種別・旧カリ科目名					
授業の属性・履修上の区分					
<input type="checkbox"/> アクティブラーニング		<input type="checkbox"/> ICT 利用		<input type="checkbox"/> 遠隔授業対応	
<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業					
必修					
授業計画					
	週	授業内容	週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	創造電気実験についての概要説明：テキストの使い方、グラフの書き方等、電気技術史の学習	電気回路、電子回路の製作基礎技術やそれに関する工具の使い方および計測ができる。電気技術史を理解する。	
	2週	テスター(デジタルマルチメータ)の原理と計測方法：校正およびアナログとデジタルについて学習	電気回路、電子回路の製作基礎技術やそれに関する工具の使い方および計測ができる。		
	3週	テスター(デジタルマルチメータ)の原理と計測方法：校正およびアナログとデジタルについて学習	電気回路、電子回路の製作基礎技術やそれに関する工具の使い方および計測ができる。		
	4週	ハンダ付け練習と回路製作	電気回路、電子回路の製作基礎技術やそれに関する工具の使い方および計測ができる。		
	5週	機械工作1：実習機器の安全な取扱い、測定の基礎、旋盤作業他	工作機械について理解し、工作機械を安全に使用することができる。		
	6週	機械工作1：実習機器の安全な取扱い、測定の基礎、旋盤作業他	工作機械について理解し、工作機械を安全に使用することができる。		
	7週	機械工作1：実習機器の安全な取扱い、測定の基礎、旋盤作業他	工作機械について理解し、工作機械を安全に使用することができる。		
	8週	機械工作1：実習機器の安全な取扱い、測定の基礎、旋盤作業他	工作機械について理解し、工作機械を安全に使用することができる。		
	2ndQ	9週	機械工作2：フライス盤作業、形削り盤作業他	工作機械を使用して加工精度を意識したものづくりができる。	
	10週	機械工作2：フライス盤作業、形削り盤作業他	工作機械を使用して加工精度を意識したものづくりができる。		
	11週	機械工作2：フライス盤作業、形削り盤作業他	工作機械を使用して加工精度を意識したものづくりができる。		
	12週	機械工作2：フライス盤作業、形削り盤作業他	工作機械を使用して加工精度を意識したものづくりができる。		
	13週	デジタルマルチメータを用いた抵抗測定と抵抗値の分布：市販の抵抗を数多く測定し誤差について学習	電気回路、電子回路の製作基礎技術やそれに関する工具の使い方および計測ができる。		

後期		14週	鉛筆を利用したカーボン抵抗の製作と測定：鉛筆で用紙上にいろいろな形の抵抗をつくり測定	電気回路、電子回路の製作基礎技術やそれに関する工具の使い方および計測ができる。
		15週	中間発表会：実験内容に関する資料作成と発表	各班で実験方法等のコミュニケーションをとり、聞き手が理解できる発表をすることができる。
		16週		
	3rdQ	1週	中間発表会：実験内容に関する資料作成と発表	各班で実験方法等のコミュニケーションをとり、聞き手が理解できる発表をすることができる。
		2週	抵抗器の製作および水抵抗測定：抵抗線を用いて抵抗器をつくり抵抗率の測定、水抵抗の測定	電気回路、電子回路の製作基礎技術やそれに関する工具の使い方および計測ができる。
		3週	抵抗器の製作および水抵抗測定：抵抗線を用いて抵抗器をつくり抵抗率の測定、水抵抗の測定	電気回路、電子回路の製作基礎技術やそれに関する工具の使い方および計測ができる。
		4週	LEDの発光特性：ダイオードの発光特性を確認	実験実習により各種の測定機器を取り扱うことができる。
		5週	コイルと手作りモータの製作：電磁力の基本原理と簡単なモータ製作により回転の原理を学習	基本的な電気磁気現象を実験により理解できる。
		6週	コイルと手作りモータの製作：電磁力の基本原理と簡単なモータ製作により回転の原理を学習	基本的な電気磁気現象を実験により理解できる。
		7週	コイルと手作りモータの製作：電磁力の基本原理と簡単なモータ製作により回転の原理を学習	基本的な電気磁気現象を実験により理解できる。
		8週	コイルと手作りモータの製作：電磁力の基本原理と簡単なモータ製作により回転の原理を学習	基本的な電気磁気現象を実験により理解できる。
	4thQ	9週	LEDの点滅によりモータの回転数を測定	実験中に工夫や創造性を発揮し、問題点を解決できる。
		10週	エネルギー変換：モータと発電機を組み合わせて相互にエネルギーが変換されることを体験	基本的な電気磁気現象を実験により理解できる。
		11週	見学会：企業見学	電気の世界と応用例を理解する。
		12週	等電位の測定：水槽の水面に生じる等電位を測定することにより電気現象(電気力線)を体験	基本的な電気磁気現象を実験により理解できる。
		13週	等電位の測定：水槽の水面に生じる等電位を測定することにより電気現象(電気力線)を体験	基本的な電気磁気現象を実験により理解できる。
14週		最終発表会：実験内容に関する資料作成と発表	各班で実験方法等のコミュニケーションをとり、聞き手が理解できる発表をすることができる。	
15週		最終発表会：実験内容に関する資料作成と発表	各班で実験方法等のコミュニケーションをとり、聞き手が理解できる発表をすることができる。	
16週				

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週	
基礎的能力	自然科学	物理実験	物理実験	測定機器などの取り扱い方を理解し、基本的な操作を行うことができる。	1	前1,前2,前3
				安全を確保して、実験を行うことができる。	1	前4,前5,前6,前7
	工学基礎	工学実験技術(各種測定方法、データ処理、考察方法)	工学実験技術(各種測定方法、データ処理、考察方法)	物理、化学、情報、工学における基礎的な原理や現象を明らかにするための実験手法、実験手順について説明できる。	1	後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9
				実験装置や測定器の操作、及び実験器具・試薬・材料の正しい取扱を身に付け、安全に実験できる。	1	前2,前3,前12,前13,前14,後3
				実験・実習を安全性や禁止事項など配慮して実践できる。	1	前4,前5,前6,前7
			共同実験における基本的ルールを把握し、実践できる。	1	前15,後1,後14,後15	
専門的能力	分野別の専門工学	電気・電子系分野	電磁気	導体の性質を説明でき、導体表面の電荷密度や電界などを計算できる。	1	前13,後12,後13
	分野別の工学実験・実習能力	電気・電子系分野【実験・実習能力】	電気・電子系【実験実習】	電圧・電流・電力などの電気諸量の測定が実践できる。	1	前12,前13,前14,後2

評価割合

	レポート	発表会	合計
総合評価割合	70	30	100
基礎的能力	70	30	100